

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



創建当時の荘厳な「まがさき」を見ている。
大正3年に開業した東京駅は関東大震災には耐えたものの第2次世界大戦で屋根と3階部分を焼失。復興工事により南北のドーム部は八角形の屋根へと姿を変え3階建ての駅舎は2階建ての駅舎として完成した。

大正の東京駅

かすみかえる。
創設当時の荘厳な「まがさき」を見ている。
大正3年に開業した東京駅は関東大震災には耐えたものの第2次世界大戦で屋根と3階部分を焼失。復興工事により南北のドーム部は八角形の屋根へと姿を変え3階建ての駅舎は2階建ての駅舎として完成した。

真鍋寂郎氏ノーベル賞
温暖化予測先駆け
大塩原を飛び交う涼しげなカモメ。それに郵便のメーラメで「まぐつなかる」ガパン語「商部名」傑作の一つだかお別れとなる日本郵便は「じびけき暑中見舞い用けがき」かもめこるを「こま復廃止した」。
一九八六年から飛び続けてきたカモメだが、九三年の三億四千万枚をピークにその数を次第に減らし昨年はピーク時の半分以下。やはり電子メールほどに逸い抜け一枚のはがきに秀でてしまつたか。年賀状ほどの利用者はいなくなつたが夏の盆りに届く「こま」にコロナ禍の中で一枚のはがきばつれしだろ。



有楽町三信ビル
子供の頃の思い出
池袋駅から最先端ファッションで彩られた街並みを抜け昔が残る都電荒川線に乗って雑司が谷で降りる緑濃い参道から境内へ入るとそこはもう別世界。境内の駅菓子屋上川口屋で休憩自分かこに立てることかちまると考えられない。



創設当時の荘厳な「まがさき」を見ている。
大正3年に開業した東京駅は関東大震災には耐えたものの第2次世界大戦で屋根と3階部分を焼失。復興工事により南北のドーム部は八角形の屋根へと姿を変え3階建ての駅舎は2階建ての駅舎として完成した。

